平成25年9月

美里町教育委員会定例会会議録

平成25年9月教育委員会定例会議

日 時 平成25年9月26日(木曜日)

午後1時30分開議

場 所 美里町南郷庁舎201会議室

出席委員(5名)

1番	委員	長	佐々木	勝男	君
2番	委員		成澤	明子	君
3番	委員長職務代行		三浦	昌明	君
4番	委員		佐藤	三昭	君
5番	教育長		佐々木	賢治	君

欠席委員(名)

なし

教育委員会事務局出席者

次長兼教育総務課長	大友	義孝	君
教育総務課学校教育専門指導員	三浦	満	君
教育総務課課長補佐	寒河江	克哉	君

傍聴者 なし

議事日程

- 第1 会議録署名委員の指名
- 第2 前回の会議録の承認
- 第3 報告事項
  - 1 行事予定等の報告
  - 2 教育長の報告

- 3 報告第38号 平成25年第4回美里町議会定例会の報告
- 4 報告第39号 平成25年度生徒指導に関する報告（8月分）
- 5 報告第40号 学習指導に関する報告（全国学力・学習状況調査結果）
- 6 報告第41号 区域外就学について
- 7 報告第42号 指定校の変更について

第4 審議事項

- 1 議案第20号 美里町心身障害児就学指導審議会委員の任命について

第5 その他

- 1 学芸会・文化祭への出席者調整について
- 2 その他

本日の会議に付した事件

第1 会議録署名委員の指名

第2 前回の会議録の承認

第3 報告事項

- 1 行事予定等の報告
- 2 教育長の報告
- 3 報告第38号 平成25年第4回美里町議会定例会の報告
- 4 報告第39号 平成25年度生徒指導に関する報告（8月分）【秘密会】
- 5 報告第40号 学習指導に関する報告（全国学力・学習状況調査結果）【秘密会】
- 6 報告第41号 区域外就学について【秘密会】
- 7 報告第42号 指定校の変更について【秘密会】

第4 審議事項

- 1 議案第20号 美里町心身障害児就学指導審議会委員の任命について

第5 その他

- 1 学芸会・文化祭への出席者調整について
- 2 その他
  - ・給食センター関連の質問書に対する回答について

午後1時30分 開会

- 委員長（佐々木勝男君） 平成25年9月教育委員会定例会議を始めることにいたします。
全委員出席しておりますので、会議は成立しております。

日程第1 会議録署名委員の指名

- 委員長（佐々木勝男君） 議事日程の第1は会議録署名委員の指名で、本日は、2番委員成澤委員、4番委員佐藤三昭委員にお願いしたいと思います。

日程第2 前回の会議録の承認

- 委員長（佐々木勝男君） 次に、日程第2の前回の会議録の承認については、各委員に配られた会議録については、事務局へは、特に修正報告がないということでございました。承認してよろしいですか。

（「はい」の声あり）

では、前回の会議録については承認ということになりましたので後程、署名をよろしくお願
いしたいと思います。

日程第3 報告事項 1 行事予定等の報告

- 委員長（佐々木勝男君） 日程第3、報告事項。報告事項に入ります。1から7までのことについて、特に4、5、6、7については個人情報を含む非公開事項がありますので、秘密会扱いということにしたいと思いますが、委員の皆さんいかがでしょうか。

（「はい」の声あり）

それでは、そのように進めますのでよろしくお願いいたします。傍聴の皆さんがその時点でおい
でになった場合は、席を外していただくというようなことをお願いしたいと思います。

それでは、報告事項の1、行事予定等の報告について御説明をお願いしたいと思います。

- 教育総務課長補佐（寒河江克哉君） それでは、お手元にごございます美里町教育委員会行事予
定表を見ていただきたいと思います。

10月は行事が多いようでございますので、全てではなく重要なもののみ報告させていただき

たいと思いますので御理解いただきたいと思いますので、御了解いただきたいと思います。

〔以下、資料に添った説明に付き、詳細省略〕

- ・10月1日 学び支援コーディネーター事業家庭学習講演会、教育長連絡会定例会
- ・10月2日 遠田郡中学校弁論大会   ・10月4日 遠田郡音楽祭
- ・10月5日 図書館まつり（近代文学館）   ・10月8日 なんごう幼稚園指導主事訪問
- ・10月10日 公立幼稚園教育研究大会（加美町）
- ・10月13日 文化財事業慶長遣欧使節団講演会（近代文学館；小牛田セミナー共催）
- ・10月14日 町民グラウンドゴルフ大会   ・10月17日 こごた幼稚園指導主事訪問
- ・10月22日 不動堂中学校指導主事訪問、第9回学校教育環境審議会
国際交流派遣事業出発式（教育委員長団長；10/31）
- ・10月29日 家庭教育支援事業赤ちゃんふれあい体験（まちづくり推進課補助執行）

○委員長（佐々木勝男君） 何かお伺いしたいことがございましたらお願いします。なお、22日の出発式は予定としては18時15分。中央コミュニティセンターということになります。

（「はい、わかりました」の声あり）

○教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） 委員長、追記したいところがあります。10月10日、これも予定なのですが、教育委員会とは密接にかかわります「子ども・子育て会議」があります。新子どもシステムで、幼稚園と保育所との町の方針を固めていく、今から計画づくりをするのですが、その第1回目の会合が10月10日に開催予定ということです。

今、子ども家庭課が中心となっていますけれども、教育委員会とは密接なかわりある会議になってきます。今、公募委員3名程募集しているようでございまして、応募があればよろしいのですが、そういった状況のようです。

27年度からその計画を実施していくことなので、25年、26年で計画をつくっていくというふうな内容でございます。改めて資料を入手した際は委員の皆様にお配りしたいと思いますのでよろしくをお願いします。

○委員長（佐々木勝男君） この場合は教育委員の参加はどうか。

○教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） ここは大丈夫です。

○3番委員（三浦昌明君） 一つよろしいですか。学芸会が何件かあるのですが、日程がみんなばらばらですね。

○教育総務課長補佐（寒河江克哉君） 予定表では日程だけ入れさせていただきましたが、本日

の議事日程第5のその他において、委員様方の出席を協議させていただきたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

日程につきましては、まだ案内状が届いておりませんが、各学校から聴いた日付で掲載させていただいております。唯一会場が違うのが、不動堂小学校が例年のとおり文化会館で行うということで、それ以外につきましては各学校の体育館で行うことになります。

○委員長（佐々木勝男君） あと、お伺ひしたいことありますか。なければ次に進みます。

（「はい」の声あり）

日程第3 報告事項 2 教育長の報告

○委員長（佐々木勝男君） 報告事項2、教育長の報告ということで、よろしくお願ひします。

○教育長（佐々木賢治君） それでは、資料に基づいて、大まかな点の報告をさせていただきます。今日は9月26日ですが、1カ月前、8月26日に第2学期の始業式、6つの小学校、3つの中学校ですか、一斉にスタートしました。幼稚園も同様です。おかげさまで1カ月になるわけですが、それぞれ学校において、順調にスタートしまして、大きな行事終わったところもありますし、これからのところもごぞいます。教育委員さん方々の常日頃のいろいろな面でのサポートに感謝を申し上げたいと思います。特に、指導主事訪問について、10月に、先ほど寒河江補佐のほうから話ありましたが、全部の幼・小・中終わるわけですが、今年からの少しスタイルが変わりまして、最後に全体会があるのですけれども、いじめをテーマとした会議を1時間ちょっとぐらいですか、いじめ防止、いじめ対策等について話し合いしております。それで、先生方4人ないし5人のグループに分けて協議をして全体会、現状はどうか、今後の対策等々ですね、協議させていただいております。小学校の指導主事訪問のときに、中学校の教職員が来たりですね、そのいじめに関する会議、小学校の授業も見たりもしていますけれども、ある小学校では保護者、PTAもその全体会に参加して、大変充実した中身の濃い協議されているということを、三浦学校教育専門員の報告もありました。

教育委員さん含め、私もその会議、ぜひ出席したいなと思っておりますが、なかなか日程調整が難しく、参加できない状況で10月を迎えることになりました。

それでは、プリントに沿ってご報告いたします。

〔以下資料に添った説明に付き、詳細省略〕

・8月31日 町内中学校運動会

- ・9月3日～24日 9月議会定例会（詳細は後程、報告第38号で報告）

※一般質問7名のうち、6名が教育委員会に関する質問

- ・9月6日 遠田郡中体連駅伝大会（小牛田中学校が男女とも優勝；県大会出場）
- ・9月8日 こどもふれあいまつり（雨天のためにトレーニングセンターで実施）
- ・9月14日 敬老式

※台風18号の接近により13日に翌週火曜日（17日）の時差登校、臨時休業を検討し、当時朝の最終連絡まで決定したが、台風の影響なく通常通りの登校となった。小牛田中学校で倒木4本被害あり。

子どものけが等はなし。

- ・9月19日 臨時教育委員会
- ・9月21、22日 遠田郡中体連新人大会
- ・9月24日 野球スポーツ少年団南郷レッドバッファローズ県大会優勝表敬訪問
- ・町内小中学校携帯電話に関する調査結果

※中学生では5割以上、小学生では2割以上が携帯電話を所有

○委員長（佐々木勝男君） ただいま御報告いただいたことについて、何かお伺いしたいことありましたら、よろしくをお願いします。

○3番委員（三浦昌明君） 済みません、ちょっと聞き逃したというか、最後の携帯電話の調査結果ですが、どこで調査して、どのような形で活用されるのか。

○教育長（佐々木賢治君） これは、校長会で調査したのですが、学校ごとに全く同じアンケート用紙で調査をして、その数値を持ち寄って担当校長がまとめました。それで、学校ごとに、学校だよりとか、何らかの方法で保護者に伝えていきます。校長会では毎年調査はしていません。3年に1回とかですね、傾向、実態を知るということで報告させていただきました。

○3番委員（三浦昌明君） はい、わかりました。

○委員長（佐々木勝男君） よろしいですか。ほかにございますか。

（「大丈夫です」の声あり）

ないようでございますので、2番の報告は閉じて、3番目、報告第38号 平成25年第4回美里町議会定例会の報告ということで、次長さんからよろしく願いいたします。

○教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） では、報告第38号でございます。教育委員会関係を抜粋してございますので、御報告申し上げます。

〔以下、資料に添った説明に付き、詳細省略〕

- ・一般質問7名中6名より教育委員会関連質問あり（給食センター関連3名）
- ・補正予算案は原案可決
- ※理科教材備品の増額〔1/2補助〕、預かり保育事業の臨時職員人件費
- 不動堂記念館樹木管理費用増額〔強風による倒木防止〕
- 近代文学館車庫シャッター修繕費増額、給食調理職員病休による臨時職員賃金増額
- ・平成24年度決算審査は承認
- ・今後の検討事項等〔一般質問、決算審査と通して〕
  - ①放射線副読本の活用方法
  - ②美里の教育に教育基本方針を掲載すべき
  - ③読書活動推進計画の見直し
  - ④不動堂中学校のプール、校庭の改修検討
  - ※不動堂小学校の昇降口の安全改修実施を特別委員会から付帯意見あり
  - ⑤学校教育に伝統文化の位置付け〔神楽後継者問題〕
  - ⑥図書館司書の専門性〔非常勤配置でよいか〕
  - ⑦スクールバスの災害対応マニュアル作成
  - ⑧外国語指導助手（ALT）の優勝な人材確保
  - ⑨学校等の統廃合〔学校教育環境審議会答申後の協議〕

○委員長（佐々木勝男君） ただいま御報告いただきましたことについて、お伺いしたいことがございましたら、お願いします。

○2番委員（成澤明子君） 一つ、9番の子どもの声が消えるということはどういうことなのでしょう。

○教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） 私も議員の発言の意図がはっきりしませんが、これは決算認定の場面での特別委員会での議員同士のやり取りの中であったものでして、例えば学校の近くに住んでいらっしゃると、常日頃から子どもの声が聞こえていると。それが、例えば旧練牛小学校の場合ですと、子どもがいなくなれば当然校庭にもいませんので、声も聞こえなくなってくる。だけど施設だけが残ってしまうので、その施設の有効活用も検討しなければならないのではないかという趣旨かなと思っておりますね、ちょっと気になる言葉だったもの

ですから、書きとめたわけでした。

○2番委員（成澤明子君） はい、ありがとうございます。

○委員長（佐々木勝男君） よろしいですか。ほかに。

○2番委員（成澤明子君） もう一つ。1番目の放射線副読本の活用方法について、指導活用に注意することということは、どういう面を注意するのかということが一つです。

それから、「放射線ってなあに」が発行されたと、一部の学校で入手しているという。入手しているということは指導して、何か副読本として活用しているのか、それと参考資料として入手しているだけなのかということをお聞きしたいのですけれども。

○教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） まず、1点目の活用に注意することという部分についての、その注意部分なのですけれども、副読本そのものに対しましては、昨年、各児童生徒に配られています。これとは別個に、学校のほうでは単一の学校だけではなくて、放射線に関する部分についてどのような指導をしたらいいのかという部分、先生方も半信半疑だったわけですね。それで、この副読本だけを使って指導をしていくということはなかなかできないだろうということがございまして、その活用方法についても学校、先生方同士活用方法の研究といいますか、勉強会をやっているのです。そのものを主に使って指導するということはしてないのですね。あくまでも副読本という形でございます。ここで議員が言っているのは、放射線そのものについて人体に与える影響というのが少ないのですね、副読本の書き方が。そういったものを心配していらっしゃるようです。

それから、科学技術振興機構の部分の関係ですが、これは副読本として活用しているということは聞いていないのですけれども、むしろこっちのほうがか放射線にかかわるわかりやすい表現、人体に与える影響とか、そういった部分もあります。その部分について活用どうなのかという問題は、こういった本も副読本ならずいろいろな本が大分発行されてきているので、注意しながら進めなければならないということでございます。

○2番委員（成澤明子君） 議員の方の意図は、副読本の内容が人体への影響などの記述が少ないから、本気になって活用というのもちよっとどうかなというようなニュアンスのことですね。はい、ありがとうございます。

○委員長（佐々木勝男君） あとございましたら。

○4番委員（佐藤三昭君） この決算審議を通してのところなのですが、7番のスクールバスの災害対応マニュアルの作成とあるのですけれども、スクールバスの運用に対するマニュアルというのはあるのですね。

- 教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） 運用はあります。
- 4番委員（佐藤三昭君） 運用はあるのですね。いわゆる災害に対するマニュアルというのは具体的に定められていないというところで必要だという声なのではないでしょうか。これはやっぱり急ぐべきことにはなりますね。
- 教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） 例えば、非常時、雷とかですね、竜巻とか、そういった部分に関してもやはり組み入れるべきだというふうなお話も頂戴しております。どこに逃げたらいいのかですね、いかに車の中といえども。そして乗っている子どもたちを下車すべきかどうかというところも含まれるわけですね。そういった運転手さんたちの研修会ですね、学期の始まる前にやっているのですが、きちんとした対応マニュアルという部分を示しながらやったほうがよろしいのではないかと。あえて挙げさせていただきました。
- 3番委員（三浦昌明君） 緊急時の連絡方法は、どうなのですか。無線とか積載してある、それとも携帯電話ですか。
- 教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） 無線の話も議員の間では出されています。バスに無線機を付けたらどうなのと。携帯電話が繋がらなくなる可能性だってありますよ、そういうお話まで頂戴しておるのですが、現在のところは携帯電話なのですね。ですから、必要性という利用度合いを考えて設置するということになると設置できないと思うのですよ。ですから、危険回避というか、危険なときにどうするかという部分のための整備をどういうふうに考えていくかということになると思いますので、この関係についてはきちんとしたマニュアルをつくらざるを得ませんし、また、今現在、アウトソーシングという全庁を挙げて、アウトソーシングできる事業は何ですかということがあるのですよ。その中では、アウトソーシングというのは要するに外部委託ですよ。ですから、このスクールバスも外部委託できないのかとか、極端な話言えば、学校給食も委託できないのかとか、いろいろな面での委託という部分が表現されておりまして、その部分との兼ね合いも含めて、どうしても整備しなければならないし、この災害対応マニュアルは避けて通れない部分でもあるということでございます。今後、きちんとした形で整備したいというふうに考えています。

（「そうですね」の声あり）

- 教育長（佐々木賢治君） いまの件でいいですか。スクールバスのマニュアルは必要ですが、例えば朝迎えにいつて乗せた、学校まで送る、その間ですよ。今各学校で竜巻発生した場合の避難訓練とか、そういったマニュアル作成はしてあります。竜巻、雷、水害、学校で親に引き渡し訓練もやっていますし、そこでの接点でバスだけやってもどうしようもないですよ。

例えば学校が母体となって、学校とバスの連絡をするなど全部関連があるのです。それから、防災管財課、通学路がどうなっているのか、これはこちらでなかなか把握できないですね。町全体であるところが氾濫しているとか、例えば。それを待つとかなり時間かかるので、今学校のほうも進めてあります。それで学校ごとに全部マニュアルできてあって、美里町教育委員会全体としてどうしたらいいのかということ今年度中にきちっとしたものがないまでも、方向づけだけつくりましょうねということで、そういった担当者会があるのです。そこで今話を進めているところです。ですから、それとこのバスとの結びつきですね、必要になってくるのかなと。バスだけではどうしようもないですね、やはり学校との連携。学校から帰るときは、もう学校のほうで必ず何らかのアクションを起こしますので。このマニュアルはバスに乗ってからでしょうかね。

- 4番委員（佐藤三昭君） 引き渡しの前に何かがあれば、バスの運行はないわけでしょうから。
- 3番委員（三浦昌明君） 保護者との連絡網をつくると言いましたものね。もう進んでいるのですよね。
- 教育総務課長補佐（寒河江克哉君） もう各学校に配置されています。緊急メール送信ですね。それは各学校で既に運用しています。
- 3番委員（三浦昌明君） そうなのとうまく連携させて。
- 教育長（佐々木賢治君） 雷と竜巻じゃないですかね、まあ竜巻だと対応がなかなか難しい点もありますけれどもね。台風とか水害についてはもう事前にわかりますものね、突発的なものですね。

（「そうですね」の声あり）

増水しているときにスクールバスは動くはずがありません。でもね、必要なことは必要ですね。

- 委員長（佐々木勝男君） これに関連する訓練などもこれから出てくるのでしょうかね。
- 3番委員（三浦昌明君） 震災のときに、私福島にいたのですが、橋が落ちて車が落ちたのも見たりした。ああいうのがスクールバスだったら本当にそれ、大変なことになります。
- 4番委員（佐藤三昭君） 定めなければいけないものではありますね。

（「そうですね」の声あり）

- 委員長（佐々木勝男君） 地震とか、雷とか、竜巻というものが、まず考えられます。
- 2番委員（成澤明子君） これと余り関係しないのだけれども、災害時のことということで、この間の震災のときにね、各学校での子どもたちへの対応というのが学校それぞれですね。聞

いたところによると南郷小学校などはテントを張って、泣き叫ぶ子どもたちを高学年の子がなだめながらね、とにかく親に引き渡すまでの間、寒い中で頑張ったという話だったり、不動堂小学校だと1年生は帰した後で、でも実際に家に着いているかどうかもわからないから、担任の先生がそれぞれ危険を省みず回ったとかね、そういったことも何か非常に貴重な、後世に伝えるために記録になるのではないかと思うのですけど。

でも、一般の町民の方でそのことは、学校に行っている人はもしかしたら学校便りで聴かされていますでしょうけれども、ほかの人たちが余り知る機会がなかったかもしれないから、何かの機会とといいますか、そういうのを残しておく必要があるのかなって、ずっと思っていたので、ちょっと今、直接は関係ないのですけれども、話してしまいました。

○3番委員（三浦昌明君） 震災のときのそういう記録というのは、あるのですかね。どういう対応をしたとか、そうですね、私も口頭でそういうふうなしたと聞いただけですが。

○2番委員（成澤明子君） 先生方がすごく頑張ったのねという印象は受けましたよ。それはもう本当に誰も。

○3番委員（三浦昌明君） 先生方大変でしたよね、あのときはね。

○2番委員（成澤明子君） 遠く離れた校長先生とか学校に泊って、そのままお家が津波にあってもね、津波で倒壊しているかもしれないのだけれども学校に残っていると聞きました。そういうことも知ってもらえる機会があれば、一体感を持って町民の皆さんも学校教育のみならず、教育に関して心開いた対話ができるのではないかと思うのですけど。

○教育長（佐々木賢治君） あの日については全く、各学校での対応となった。要するに学校は火事になったときも避難、校内での避難、地震と火事というのはつきもので、そういった校庭に避難するとかね、体育館に避難するとか、そこまではどの学校でも年に1回、2回は必ずやっていました。

それで、学校が避難所になるということは周知されていますが、あの日の夜はてんでこ舞い、パニックですね、先生方も。具体的に学校の体制としてどうしたらいいのかと。町の職員の方々がいろいろ指揮してくれたので。その前に子どもたちの安否確認とかですね、やっぱりいろいろありました、それは。幸い金曜日で中学校卒業式の日で、中学校はほとんど生徒がいなかったのよかったです。避難所等も指定されていますので、どういうふうに対応したらいいのか、職員の中でですね。今防災備蓄倉庫というのも学校ごとにもう準備していただきましたし、その中に発電機も置いてあります。それらのことについても今、万が一の場合どうしたらいいのか、あと親への引き渡し訓練、それからすぐうちに帰すのではなくて、家がどうなって

いるかわからないですよ。地区のいろいろ組織がありますね。この間、町の訓練もあったと思うのですが、そこにね、子どもたちを誘導していくという訓練もやっている学校もありました。ですから、地区と学校の繋がり、当然その辺なども必要になってくると思いますね。学区ごとにいろいろな会がありますので、地域の方々も一緒に入る、そういった中で具体的にどのように進めているかというの、まだ完全には把握していませんが、当然その地域とのかかわりも必要になってくると思います。

○3番委員（三浦昌明君） まだ震災の記憶がなくならないうちにね、そういう地域との有機的な連携であるとか、そういうものも含めたものを、マニュアルでなくても、地域との協定みたいな形でやっておいたほうがいいかもしれませんね。

○教育長（佐々木賢治君） これくらいの災害規模の場合は、もう帰さないで学校に親が直接来てもらうとか、いろいろマニュアルはあるようです。

○3番委員（三浦昌明君） 震災のおかげでね、本当に小さな集落単位で防災訓練もするようになったしね、装備も充実してきたし。

○教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） 地教委の発行だったか、県教委の発行だったかちょっと定かではないのですが、どういうふうな対応をしたかという、先生たちが書いた記録誌があるのですよ。それは、読んでいるとですね、その学校のどういうふうな対応をしたかという部分がわかるような内容になっていますね。ただ、美里町でそれを各学校の対応どうだったかという部分については、まだ何もありません。

○2番委員（成澤明子君） 話を聞くとね、本当に貴重な話かなって、私一人聞いていてもったいないと思うような話も随分お聞きしましたよ。だから、恐らく学校の数だけその対応の仕方が全部違っていたと思いますから。今後の防災というか、そういったものにはきっとノウハウみたいなものは絶対役に立つことがあるのでないかなと思いました。

○3番委員（三浦昌明君） それをつくることで、あのときはこうしたほうがもっとよかったのではないとか、そういう反省なども出てくるかもしれませんね。

○2番委員（成澤明子君） それでまた学校の先生方の負担が増えると大変ですね。学力向上とのかかわりもありますから、体一つしかないのにね。

○委員長（佐々木勝男君） この件はよろしいですか。

（「はい」の声あり）

なければここで一旦打ち切って、休憩に入りたいと思います。10分ほど暫時休憩とします。

【休憩 午後2時30分】

【再開 午後2時40分】

報告事項4 報告第39号 平成25年度生徒指導に関する報告（8月分）

報告事項5 報告第40号 学習指導に関する報告（全国学力・学習状況調査結果）

報告事項6 報告第41号 区域外就学について

報告事項7 報告第42号 指定校の変更について

○委員長（佐々木勝男君） 休憩前の引き続き、会議を再開します。それでは、次の報告事項の4から7につきましては、個人情報を含む非公開事項の報告がありますので、秘密会扱いということになります。

もし傍聴の方がいらっしゃいましたら、御遠慮いただきたいということで、事務局のほうからお伝えするよう、お願いしたいと思います。

〔開始 午後2時40分～午後4時30分 終了〕

【秘密会につき、会議録調製なし】

○委員長（佐々木勝男君） 報告事項を終了します。続けて審議事項に入ります。

日程第4 審議事項 1 議案第20号 美里町心身障害児就学指導審議会委員の任命について

○委員長（佐々木勝男君） 日程第4の審議事項1 議案第20号 美里町心身障害児就学指導審議会委員の任命について、提案説明をお願いしたいと思います。

○教育総務課長補佐（寒河江克哉君） それでは、議案第20号 美里町心身障害児就学指導審議会委員の任命についての提案理由を説明させていただきます。

この審議会の委員につきましては、平成24年度に任命させていただいておりました。平成25年度の教職員の人事異動により、3名の方が町外に転出、もしくは退職等されたために新たな委員を任命する必要があるものでございます。これがこの議案を提出する理由でございますが、ちなみに、今年の指導審議会の日程は11月15日を予定しております。

それに伴いまして、この9月定例教育委員会で新しい委員3名を任命する同意をお願いするものでございます。

各学校等の役職につきましては、替わられた先生と同じ役職の方々が委員に就いていただく

ということで、内諾はいただいておりますのでございます。

以上がこの議案を提出する理由でございます。よろしくお願いたします。

○委員長（佐々木勝男君） ただいま委員の任命について提案の説明がございました。審議事項ということでございますので、御質問、御意見をいただいて、承認ということの流れで進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

御質問、御意見、まとめて結構でございますのでお願いたします。

（「ございません」の声あり）

御異議ございませんか。それでは御異議なしということで、議案第20号 美里町心身障害児就学指導審議会委員の任命については承認ということになりました。どうもありがとうございました。

（「ありがとうございました」の声あり）

日程第5 その他 1 学芸会・文化祭への出席者調整について

○委員長（佐々木勝男君） 続きまして、日程第5、その他1、学芸会・文化祭への出席者調整についてお願いたします。

○教育総務課長補佐（寒河江克哉君） それでは、本日お配りした資料の最後になります、その他ですが、平成25年度小学校学芸会・学習発表会出席委員案、中学校文化祭出席委員案を見ていただきたいと思っております。

先ほど三浦委員さんからの御質問あったとおり、各学校まちまちの開催日でございます。小学校につきましては土・日の開催となっておりますし、中学校につきましては、小牛田中学校が10月16日の水曜日と平日、不動堂中学校、南郷中学校については土曜、日曜の開催となっている次第でございます。

先ほどもお話したとおり、まだ各学校から正式な御案内はいただいておりますが、この教育委員会の場で出席する委員さんの案をお示しさせていただきまして、同意いただければありがたいと思ひまして、資料を作成させていただきました。よろしくお願したいと思ひます。

○委員長（佐々木勝男君） それでは、ただいまの説明いただいたように、学芸会・学習発表会及び文化祭出席の案ということで提出されております。これについて委員の皆さんよろしいですか。

○3番委員（三浦昌明君） 私はよろしいです。

- 教育総務課長補佐（寒河江克哉君） 極力委員の地元の学校を中心にしております。
- 4番委員（佐藤三昭君） 御配慮ありがとうございます。
- 3番委員（三浦昌明君） 合唱コンクールはフリーで入れますよね。
- 教育長（佐々木賢治君） 祝辞も何もありませんので、ないですよ。
- 教育総務課長補佐（寒河江克哉君） 祝辞依頼はありません。
- 委員長（佐々木勝男君） それではただいま提案いただきましたその資料で認めていただくということになりますね。よろしくお願ひしたいと思ひます。

（「よろしくお願ひします」の声あり）

その他の2、その他の件では、何か案件ございますか。

- 教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） 少し重い案件がございます。
- 委員長（佐々木勝男君） では、次長さんのほうからお願ひします。
- 教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） 少し休憩挟んでいただければありがたいのですが。
- 委員長（佐々木勝男君） では、次回の日取りを決めていただいて、1回閉じて。
- 教育長（佐々木賢治君） 閉じないで、報告・協議として会議録を残したほうがよろしいです。
- 委員長（佐々木勝男君） では、暫時休憩とします。

【休憩 午後4時38分】

【再開 午後4時48分】

日程第5 その他 2 給食センター関連の質問書に対する回答について

- 委員長（佐々木勝男君） 再開します。その他の件について次長のほうから御説明をお願ひしたいと思います。
- 教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） 時間をいただきまして申しわけございません。

本日お渡ししました業務報告書案、まだ教育長の閲覧も受けていないものなのですが、先日の臨時会でいろいろ御協議をいただきまして、提言をいただいた部分に対しての回答を作成し、代表宅に届けてまいりました。まずその報告を先にさせていただきたいと思ひます。

質問書については既に配布済みのものでございまして、回答書のほうにつきまして、1枚目ですか、公印を押した控えになりますが、その次のページに回答ということで提言についての回答はこうです、理由1に対しての回答はこうです、2に対しての回答、3に対しての回答はこういうことだというように作成し、回答を申し上げたところでございます。

9月20日10時から総務課長がアポをとりまして、在宅であるということでございましたので、町長のほうで受理しております質問書もあったものですから、それも一緒に届けに参りました。総務課長と2人でいきました。協議会のほうは中村代表のほか、西城さんという副代表さん、それから、佐藤泰夫さんが事務局長さんなので、3名の方がいた中で回答書を提出してまいりました。その際に、町長及び教育委員会の回答について、受理するかどうかを協議しなければならないというふうな発言がありまして、受理の条件として教育委員会と協議会が意見交換を行いたいと、これは佐藤氏の発言でございます。教育委員5人と協議会も5人ぐらいだと。このことについては即答できないので協議しますよと、即答できませんからと発言をしてまいりました。そのまま、「回答書は持っていけ」と言われるのかというふうにも思いましたが、そのまま受理されております。

以下、3つ目は、一つ一つ資料提示しながら、協議会、佐藤さんの見解なのか、協議会としての見解なのかちょっとわかりませんが、協議会の代表ということでお会いしていますので、協議会のほうの考え方というふうにお伺いしてきました。

まず、1つ目は、精査という文言については、これは精査でなく協議だと。それから、12月の教育委員会で提出の協議にしていますけど、それは精査の協議ではないよと、発言も同じだよと。基本理念については、これは懇談会での繰り返しのことです。それから、単独調理方式の周知と普及についてということが、きちんと明確にあるぞということ。3つ目は、教育基本法13条について住民の意見を聞いてないということでもございました。

これ、なぜこういうふうになるのかなというのは、懇談会の際に、12月に提出した基本構想をもとにやってみようというふうな話でスタートを切ったのですね、あのときの懇談会は。ということは、12月に提出する基本構想については、厳密に言えばそのものに対するパブリックコメントもやってないですよという意味合いのことです。だから、なぜパブリックコメントをしないのかという質問も前にはありました。

そういったことで、ただ教育委員会は、基本となるものは最初に出したものと同じだからというわけですね、ずっと。だから、そのことは「いや違うのだ」というあらわれだと思えますよね。それからもう1点は、何度も何度も言いますが、これは、連絡協議会の皆さんたちは、給食センター化の前に、学校給食という部分はどうあるべきかということが先でしょうということを何度も言っているわけですね。そこからスタートしている。こちらとしては、給食センター化については全て決着ついていて、あとはどういうふうなものに仕上げていくかという部分だけであるということですから、その最初からのスタート時点も違うというこ

とだと思っのですね。でも、小牛田町時代や合併協議会でも、先日もいろいろ臨時会の場合でお話させていただきましたが、それは連絡協議会の考え方からは、「決まってなかつた」と、「私達は何も聞いてないのだ」、「住民の意見を聞いてないのだ」と。そういうふうなことにしかどうしても聞こえないのですよね、流れる的に。だけど、町としては総合計画、旧小牛田町時代の第4次総合計画でしょうかね、それに載っていたよとか、いろいろな話を聞いておりますし、そこまで来る過程の中では、町長単独で決められるものではなかつたはずだと思ひます。

これは、小牛田町の議会の中でも論議されてきているのが通常だと思っのですね。実施計画まで載せているということは。ですから、その辺聞いてないよというふうな、私ら知らないよというふうにししか聞こえなかつたし、そこから既にスタート地点がぼけているというか、かけ離れているのかなと感じました。そういった中で、このような申し入れをされておりますので、即答をできる状態ではありませんし、一度持ち帰って教育委員会が本日にあるのが判っていますから、その中で回答書の提出の報告をしながら、協議をしていただく訳です。

テープが回っており、会議録としては残さなければならぬですが、あえて言うと今朝、電話を佐藤さんからいただきまして、「今日、教育委員会あるでしょう」と、「この関係について何かあるのですか」というふうな話なのですが、先日臨時会を開いてまで回答書をつくって持っていったのだから、その報告は当然しなければなりません。それでは、「私の申し入れも協議するのだな」と、「しますよ」と。ただ、時間的に今回の部分については、学力学習状況調査、学力向上についての話し合いがメインなので、相当な時間を要するでしょうというようなお話をしました。

そうしたところ、「本日は傍聴には来ないけれども、どういふふうな結果であるか連絡を欲しい」というお話でございました。それで、本日の会議になっているということでございますけれども、その際にいただきました資料を、ちょっと分厚いやつですね、いろいろと30ページ近い資料ですけれども、これを頂戴してきておりますので、本日あわせて配付をさせていただいたというところでございます。

報告になります、以上であります。

○委員長（佐々木勝男君） このことについてはどこまで本日は進めるか。

○教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） 結論が出れば。

○3番委員（三浦昌明君） よろしいですか。結論も何も、前回わざわざ臨時で教育委員会を開いてですね、このことについての話し合いをして、その回答を出した訳ですよ。それを受理するかどうかということ自体、全く意味がわからないですよ。委員会開いているわけですか

ら。その条件というのもですね、意見交換ということことですけれども、それも既にやったことであるし、同じことの繰り返しで、これ以上のことは何もないというか、できない、する必要もないのではないかというふうに私は思うのですけれども。きりがいい話になってしまって、我々は一体何のためにあるのかということですね、おかしくなってくるようなことになるのではないかな、というふうに感じます。

要は、この経過見るにですね、連絡協議会の考え方、それに沿うような形を出していかなければ、いつまでも終わらないというふうなことではないのですか、これは。

○教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） これをですね、ちょっと制度的な問題から話しますと、教育委員会そのものというのは行政委員会での協議ですから、あえて会議録に残すのもしかり、秘密会にするのもしかり、案件によってはですね。委員さんの3分の2の同意があると秘密会の成立ということもありましてね、それでも残るからしっかりとやったほうがいいのだということであれば全部記録に残しますけど、あえて言えるものも言えない、中身が濃いだけに。それでは秘密会にするかという手もあるわけですよ。その辺のところは先に決めてね、やったほうがいいのかなという感じがしますけれども。

委員でない私が提案するのもおかしいことなので、提案権もあるわけではありませんけど、そういうふうなことからやったほうがよろしいのでないかなと思うのですけれども。

○教育長（佐々木賢治君） まず、いいですか。この間、提言書いただいて、その提言は応じられませんと、本来であればそれで委員会の回答になるのですよね。提言書ですから、この提言に応じられませんと、それが回答ですと。でもそれでは余りにも誠意を感じられないであろうということで、臨時の委員会を開いて、2時間近くいろいろ協議をしてですね、この回答書、このとおり文字数は少ないのですけれども、明日のお昼まで出すということなので、事務局で要約して出させてくださいと、そこまで了解を得て持っていました。

それについて、受理できないからまた教育委員さんと意見交換しませんかと、ちょっと私は不自然であるし、教育長としてもそういった意見交換会は何のためにやるのかと思うと、まずそれはできないと。その後についてどうしたらいいのかまた協議となると別問題になって来ますけれども、今回のこの件については意見交換ができないと思います。

もう一つは、今教育委員会では課題がいっぱいあります。きょうも学力の話出ましたが、学校教育環境審議会でも今お願いしてあるし、そちらのほうに教育委員会としても、あるいは委員会事務局としてもですね、手一杯なのです。それは理由にならないと言われればそれまでなのですが、ただ、教育委員会として前向きに今から何をすべきかということをおね、ぜひ委員

さん方にもお考えいただきたいと思います。

申し訳ないのですが、私教育長3年になりますけれども、これについてかなり気は使ってきたつもりであります、なかなか進まないと言われるとそれまでですけれども、事務局にも本当に仕事がいっぱいある中で対応してもらった経緯があります。後半の部分はちょっと感想もあります、以上です。

○2番委員（成澤明子君） すみません。いまいただいたのですけれども、回答があつてここからのこの資料はどなたから。

○教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） 協議会の佐藤さんからです。

○2番委員（成澤明子君） 佐藤さんからの資料なのですか。いろいろ書き込みもありますけど、これ全て。

○教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） こちらで何回か資料の提供や提出している部分もありましたから、その中にもあるかもしれませんが。

理由に対する回答をつくったのですけど、それぞれのコメントをするために資料を提示いただきながら、その話をされた。一つ一つに対して、さっきの精査は精査でないとかですね、その部分の根拠となるものというのですかね、そういったことだと思います。

○2番委員（成澤明子君） 食育と給食を考える研究会まちづくり会議の佐藤泰夫さんという方の資料なのですか。

○教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） はい。

○委員長（佐々木勝男君） とりあえず、取りまとめますので。回答書は受け取ったのか。

○教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） 置いてきました。

○委員長（佐々木勝男君） 向こうでは受け取った。

○教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） 受け取ったというか、置いてきました。

受理という考え方がすごく難しいので、置いてきました。

○委員長（佐々木勝男君） 回答してくださいといったときに、その文面の中にこういう条件は入っていましたか。

○教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） 入っていません、何もないです。

○委員長（佐々木勝男君） そういう文言はなかったよね。

○教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） ないです。提言書の中ですよ。

○3番委員（三浦昌明君） これ、こういうやり方をして、我々がやったこの間の臨時教育委員会はなんだったのということですよ。

- 委員長（佐々木勝男君） あそこで決したのなんなの。
- 3番委員（三浦昌明君） なんだったのということですよね。今度はもう1回意見交換しないと受け取られないとなったら、延々とエンドレスですよ。こういう話は聞いたことがないです。協議会が受理するかどうかのことなので、関係ないのでは。だってわざわざ臨時委員会開いて、報告書をつくって置いてきたわけだから。
- 教育総務課長補佐（寒河江克哉君） すみません、聞きそびれてしまったのですが、町長からの回答書もそうすると受理ではないということですか。
- 教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） そこまで言ってない。2つ同じものという考え方もできるし、教育委員会のだけをこうだという部分にも取れるし、どっちとも言わない。何かというと、回答の中身は3つとも同じだから、回答の中身。十分に町長側とも協議してというふうな話もあったわけですね、だからこういうふうな作り方をしてきたのだから、回答の中身というのは同じですよ、結局はね。だから、この町長部局のもの、教育委員会のものと分けられるものは何もないということですよ、考え方として。
- 3番委員（三浦昌明君） 十分向こうの要請に合わせて懇談会も開いて、委員会も開いて、報告書もつくったわけだから、十分対応したと思うのですが。
- 2番委員（成澤明子君） 私たちは無条件に提言を受け入れて、回答しましたから、無条件に回答を受け取っていただいていいのではないのでしょうか。
- 3番委員（三浦昌明君） それしかないですよ。
- 委員長（佐々木勝男君） 提言受けたことに対しての臨時の教育委員会を開いて、そしてそれぞれの委員の皆さんのほうから御発言いただいて、そしてこのことについては答えた、というふうな受け止め方だと思いますが、それで、その考え方で変わりませんよね。
- 3番委員（三浦昌明君） はい、変わりません。
- 委員長（佐々木勝男君） 町長部局からのものについても、こちらの教育委員会のものと2つは置いてきたということになりますね。
- 教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） 置いてきたのですから、先ほど言われたように、臨時会でも協議して、精一杯やったわけですよ。回答の中身は受け取る側からすれば満足のいく回答ではないということなのかなとは思っています。
- ただ、教育委員会としては、臨時会まで開いて協議し、そして回答しましょうということで置いてきました。ただそれだけです。
- もしかしたら条件というか、申し入れされたのだけれども、それをお断りするということに

なれば、その回答書は返却されるかもしれませんね。その場合はその場合で、何も行ってきた事実は残りますし。

○教育長（佐々木賢治君） 全然問題ないのではないですか。きちっと約束ね、期日を守って、受理する、しない、それは向こうが判断したのだから。それについて教育委員会がどうのこうの言えない。そのためにさらに話し合いしてくださいって、それは応じられませんと。

○3番委員（三浦昌明君） そうですよ、私もそう思います。

○教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） 前回の臨時会のときにもお話しましたが、懇談会を開催する趣旨という部分については、前もって話しをしたつもりで、前向きの姿勢でこれからどうしたらいいのかということを経験委員会としてもわからない部分もあったし、いろいろと連絡協議会の人たちも自前で考えたこともあるから、それらを教えてもらって、提言を受け入れながら進めていきたいと思いますという懇談会でしたよね。ところが、ここがこうであるという部分だったような気がするのですよ。だから、それについて懇談会の反省会をしましょうねと、例えば教育委員会でやった場合に、反省会ではない中身ですよ。結果として、一体どういう懇談会だったのか、ということだけが残ってしまうのかなというような感じですよ。

○3番委員（三浦昌明君） そうですね。

○教育次長兼教育総務課長（大友義孝君） それも強いて言うならば、その繰り返しということなのかなという感じもしますが、ただ、意見交換会を開催して、妥協して前に道が開けていくという展望があって、そしてそれが学校教育環境審議会は動いていますけど、それとは切り離して考えていくべきなのではと思うんですけど、そこにも関連していくような。

もっともっと前に進んでいく、そういうふうな意見交換会であればこそ、教育委員会の委員さんたちだってそれはやるということになるのだと思うのですよ。ただ、今までの部分からして、こちらの考えと連絡協議会の皆さんの考えと、どうしても乖離があるわけですよ。だから、そこがどういうふうにして溝を埋めるかということを考えなければならぬのだけれども、埋める方法ですよ、ちょっと見つからないですよ、埋める方法は。

○教育長（佐々木賢治君） この間の向こうでやったのも、私も挨拶の中でね、意見交換会いろいろ情報教えてありがとうございますと、そういう会にしたいですと話したのですが、中身に入ったら、もう「精査したというのは何を精査したのか」とか「基本理念がおかしいのではないか」とか、結局は教育委員会に対する突っ込みですよ。そして最終的には白紙撤回「あのような基本構想は何でもないから白紙撤回したほうがいいよ」と、そこに最後いったのです。

だから全然意見交換会でも、前向きでもない、また同じようなことだと思って、決して私

は、いい思い全然しなかったし、教育委員さんたちだって会場で聞いていて「何なのこれ」と多分思われたと思います。今回またお会いしても、多分このことでしょう、納得いくまで説明してくださいとか。また後ろに戻っていくようなことを、溝というのはやっぱり埋まらないですよ、もうこれだけであれば。

だから、例えば学校教育環境審議会ですか、今後いろいろ答申を受けてね、教育委員会でいろいろ協議していくのですが、そのとき一言相談して我々に資料を求めるとか、という考え方で、話が進むのであればいいのだけれども。

それにしてもまず、先が見えないからなのですが、十分私はもう誠意は示したと思うし、「意見交換会できません」ということでお願いしたいと思います。

○3番委員（三浦昌明君） 私も教育長の意見と全く同じです。

○4番委員（佐藤三昭君） 私もよろしいと思いますよ。見解もしっかりと臨時会で決議したことですから、そこに対して回答なので。委員全員を集めてまたさらに意見交換会というのはちょっとふさわしくないのではないかな。受理の条件として意見交換会を行うというのは受けなくていいと思います。

○委員長（佐々木勝男君） 私自身は先ほどの、提言があって、それに対して臨時の教育委員会の会議を開いてきて、それぞれ理由に基づいて協議をして、結果として申し入れは受け入れることはできませんと、教育委員会はそのように考えますということで提言の回答をまとめて提出をしたということについては、それは教育委員会の考え方として行ったということで、私自身は確認をしております。ただ、こういうやり方ってあるのかなというのは、受理の条件として後から出してくる。最初からそういうの文言としても見えなかったしね、それはなんか不可解です。

そういう面で、私たち教育委員会としては、会議を開いて、提言に対して回答したと受け止めておりますので、それを受け取っていただきたいと、そういうように考えるということですね。皆さんの御意見もほぼ同じかと思えますけれども。

（「はい」の声あり）

そういうことで、お願いしたいと思います。それでは、ただいまのその他2については閉じることいたします。

○委員長（佐々木勝男君） 次回の会議はいかがしますか。私自身は、22日からウイノナ訪問があります。案件としてどういう内容がありますか、具体的には学力の件なども。

- 学校教育専門指導員（三浦満君） スポーツテストの結果が出てきています。今月中に大体まとまります。
- 教育長（佐々木賢治君） 学校教育環境審議会も控えていますから、これも大きな会議なので。
- 教育総務課長補佐（寒河江克哉君） 環境審議会のほうは来月になりましたら、委員長と打ち合わせにいきたいと思っていましたので、問題ありません。
- 教育長（佐々木賢治君） タイムリミットは18日までですよ。
- 4番委員（佐藤三昭君） 私は合せます。
- 学校教育専門指導員（三浦満君） 17日、私はだめです。こごた幼稚園の指導主事訪問があります。
- 教育長（佐々木賢治君） 16日は学校事務指導があります。
- 委員長（佐々木勝男君） では、18日金曜日、1時半から近代文学館会議室にて。
あとはよろしいですね。それでは、以上で平成25年9月教育委員会定例会議を閉じることいたします。

午後 5時26分 閉会

上記会議の経過は、教育総務課 寒河江 克哉の調製したものであるが、その内容に相違ないことを証するため、ここに署名いたします。

平成25年11月26日

委員長

署名委員

署名委員